

連携先	ERPパッケージ Excel/CSV	利用シーン	データ連携基盤 業務自動化	業種	製造業
-----	-----------------------	-------	------------------	----	-----



## 社内情報・業務処理の核となるポータルサイトをASTERIA Warpのみで構築！

データ連携の内製化により、業務パッケージに足りない機能を拡張

日揮触媒化成 株式会社

神奈川県川崎市幸区堀川町580番地 ソリッドスクエア東館16階

URL : <http://www.jgccc.com/index.html>

### 導入背景

日揮触媒化成は、現代生活に欠かせない触媒、環境・新エネルギー、ファインの3分野で事業展開している無機機能材料モノづくりメーカー。「微は、美」を合言葉に、ナノ微粒子調製技術などのナノ基盤技術を中心とした独自の技術を開発、活用し、製品として提供している。同社では、老朽化した基幹システムのリプレイスプロジェクトが開始された。会計・販売管理システム“Hybrish”、原価管理システム“ProSCOPE-C”、品質検査管理システム“Lab-Aid”、人事システム“ZeeM”、4パッケージを導入。同時に属人化していた個別システムやツールを廃止し、システム間のデータ連携用途としてASTERIA Warpを導入した。運用が始まると単一の業務パッケージ機能では使いにくいことや実現できないことがあり、各部署から改善要望があがった。それら要望に応えるべく、ASTERIA Warpをユーザー向け業務支援システムの開発ツールとして活用することになった。

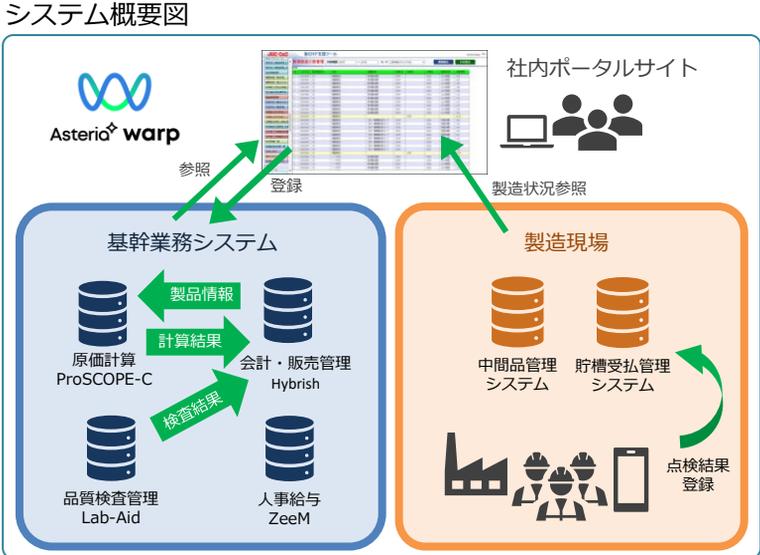
課題	導入	効果
<ul style="list-style-type: none"> <li><b>データ参照機能の不足</b> 登録されているデータのうち必要なデータのみを参照するための絞り込み機能を単一の業務パッケージで実現することが難しかった。日々多くのデータをやり取りを行うため簡単に素早く必要なデータを取得することはニーズが高く、早急な対応が求められた。</li> <li><b>機能ごとの権限設定</b> 人事、財務、製品処理状況など、機密情報を扱うこともあり、特定の人以上以外が操作できないように権限を設定する必要があった。</li> <li><b>特殊な独自仕様への対応</b> 独自の計算式を用いる工場向けシステムは、市販の生産管理パッケージを利用することが困難だった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>社内ポータルサイトを構築</b> ERPパッケージ内のデータ利用に必要な追加機能をまとめた社内向けポータルサイトを構築。Active Directory 認証を用いることでユーザーごとに権限を設定可能に。</li> <li><b>1機能の開発時間は約2時間</b> 作成した処理フローを複製し、機能要望に合わせて軽微な画面変更とプロパティを変更するだけで開発が完了。開発効率を最大化。</li> <li><b>標準機能のみでポータルサイトを構築</b> ASTERIA Warpが「Webサーバー」となる機能やHTTPリクエストが送信されると処理が実行される「URLトリガー」機能を利用する事より、他のソフトウェアを導入することなくポータルサイトを構築。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>ポータルサイトで200以上の機能が運用中</b> 物流のステータス管理や承認処理など数多くのデータ連携機能を社内ポータルサイトに集約することでユーザーの利便性を向上。</li> <li><b>1日数千回、1000万件以上のデータ処理</b> 頻繁に実行される大量データの検索・抽出も安定して稼働。ユーザーは必要な時に必要なデータを取得可能。</li> <li><b>内製化によるコスト削減</b> 大きなコストをかけられない製造現場の利用するサブシステムなども、内製化によって実現。費用対効果を測りながら、柔軟にユーザーの意見を取り入れた業務改善が可能に。</li> </ul>

### 選定理由

- 生産性の高さ**  
GUI開発により超高速開発を実現可能。処理内容の確認、改修も容易。
- 豊富な連携機能**  
パッケージ間連携だけでなく、Excelファイル出力やWeb画面表示など広く利用可能。

### 今後の予定

- IoTデータの処理**  
製造現場で試用中のIoTセンサーデータなど10秒間に数千件発生するような大量データを整形し、見える化することで、品質向上や生産効率向上に貢献。
- 製造現場に応じた業務改善**  
製造現場を見て、費用対効果を総合的に判断し、必要なシステムを追加・拡張予定。



### お客様から一言

ASTERIA WarpのココがGood!



管理本部システム部  
デジタル化企画推進グループマネージャー  
森田 正吾 様

基幹業務システムのリプレイス時、いままでと使い勝手の違うシステムなのでユーザーに多少の混乱が生じることは予想していましたが、ですから、ASTERIA Warpを導入する際にはパッケージ間データ連携だけでなく、パッケージ内のデータをユーザーが活用するための情報提供を実現できないかと考えていました。期待通り、ユーザーのニーズに沿った機能を素早く作成して提供することができ、混乱を早期解消できました。

パッケージに縛られることなくデータを活用するためにASTERIA Warpはなくてはならない存在です。導入当時から6年以上稼働しており、バージョンアップも比較的容易に行えるので今後も安心して長く使える製品だと思っています。